

1. 素核研安全グループの今年度前半の活動

昨年度に引き続き、《安全意識の向上・浸透》および《安全な実験室環境の整備・構築》を目指して、日々活動しております。今年度前半の主要な活動は以下の通りです。

(1) 筑波実験棟における事故対応訓練の企画・主導

今年10月最終週に実施されたつくばキャンパス全体の【安全・衛生週間】に合わせて、10月29日午後、筑波実験棟において、素核研担当による防災訓練を実施しました。素核研 Belle グループ職員＋安全グループを中心に自衛消防隊筑波棟支部(仮称)を編成し、《地震に伴う液体窒素配管の損傷による液体窒素漏洩＋火災発生》想定のもと、避難訓練＋消火訓練を実施しました。担当者の皆様は、予行演習、訓練本番と大変ご苦労様でした。

訓練は、自衛消防隊支部と災害対策本部および自衛消防隊本部が連携して行われ、見学者も含め、災害時の体制・行動を確認する貴重な機会になったと確信しています。

また、訓練終了後、消防署指導による《起震車体験》および《空気呼吸器》の装着デモが行われ、多数の参加者があり、これもまた貴重な体験となりました。



自衛消防隊支部集合



自衛消防隊本部との連携



避難誘導



負傷者介護・搬送



消火放水



起震車体験

(2) 安全監視員一名増員による安全監視の強化

昨年度より行ってきました、素核研の安全監視員(業務委託)による安全監視業務の効率化および体制強化ですが、今年10月中旬より、安全監視員を一名増員し、これまで1日3回だった安全巡視を5回に増やし、下表のように安全監視体制を強化しました。同時にこれまで Part time であった富士受付業務を昼間 Full time と改善しました。

また、夜の巡回時間を30分延長し、無人の実験ホールの消灯を徹底するなど、省エネにも

貢献しています。事故を未然に防ぐ安全な状況を維持していくためには、来年度以降もこの体制を継続していく必要があります。

安全巡回場所 (新旧比較表)	平日		休日	
	新	旧	新	旧
筑波実験棟 (2回/日)	○	○	○	○
富士実験棟	○(2回)	○(1回)	○(2回)	○(1回)
大穂実験棟	○	×	○	○
日光実験棟	○	○	○	○
AR 南実験棟	○	○	○	○
先端計測実験棟・開発棟	○	○	○	○
加速器南実験棟	○	×	○	○
北カウンターホール	○(2回)	○(1回)	○(2回)	○(1回)
ニュートリノ実験施設	○	×	○	○
溶接作業棟・PS 第2収納庫	○	○	○	○
PS 周辺施設 (コンテナ、テントの巡回を追加)	○	×	○	○
南実験準備棟	○	×	○	○

(3) 労働安全コンサルタントによる巡視

今年10月、外部の労働安全コンサルタントによる実験室安全巡視を実施しました。12月までに合計3回に渡って、素核研が活動する複数の実験室を巡視する予定で、指摘された不安全な状況の改善を順次実行していく予定です。

安全上のリスクや労働安全衛生規則等に抵触するような状態の指摘があれば、今後早急に改善を行い、より安全な環境を構築していくことが重要です。



筑波棟 B4 ホールの巡視



昇降設備の点検



巡視後の検討会

(4) 高圧ガスボンベ保管状況の改善

機構安全委員会の指摘を受け、素核研内にある高圧ガスポンベの使用状況を調査しました。その結果、7月までに80本以上の不要なガスポンベを回収・返却済みで、約10本の素核研所有の古いポンベを廃棄予定とし、集積済みです。引き続き、ポンベスタンドの床への固定および既存ポンベスタンド改良による上下2段の転倒防止用チェーン設置(約50個のスタンドでポンベ一本毎に固定)を実施中です。



不要ポンベ調査



不要ポンベの回収・返却



既存ポンベスタンドの改良例
(ポンベ一本毎の固定)

(5) その他

■ 素核研旧 PS 実験地区の安全管理体制の見直し

ここ数年、多くの旧 PS 施設での安全管理体制が曖昧となっており、安全管理が行き届かないケースが散見されたため、以下のような見直しを行いました。

- 北 CH の実験室責任者として基本的につくば勤務者を選定。(5月以降)
- 北 CH 保管の CS 管理を富士棟と筑波棟へ移行。(7月以降)
- 旧 PS 地区全般施設の鍵管理を富士棟および筑波棟へ移行。(10月以降)

■ 素核研職員全員による安全パトロールの実施(7月)

昨年度に引き続き、7月に素核研職員全員による安全パトロールを実施しました。

2. 今後の活動予定

2015年度も残り4か月となりましたが、引き続き下記のような活動をしてまいりますので、皆様の益々のご理解とご協力をお願い致します。

安全管理上、何か相談事があれば安全グループに声を掛けて下さい。微力ながら、可能な限りお手伝いさせていただきます。

- (1) 安全講習会の開催(今年度は高所作業・足場の予定)
- (2) 避難経路の創出と明示(先端計測棟)
- (3) 北 CH 地区の管理区域縮小の検討
- (4) 不安定な棚の固定および高圧ガスポンベ保管状態の改善